

町長マニフェスト進捗状況管理表

(令和2年度(2020年度)の取組状況)

令和4年(2022年)2月

熊本県 益城町

目 次

1. 被災者の住まい再建 さらに加速	1
2. 一刻も早い復興整備 近い将来の賑わいへ	2
3. 震災から立ち上がる 町民主役のまちづくり	3
4. 地域みんなで育てる 子どもは町の宝物	4
5. 農業・商工業・観光業を連携 「益城ブランド」づくり	5
6. 地域のみんなで見守る 福祉が充実したまちへ	6

町長マニフェスト進捗状況（令和2年度）

◎：取り組んだ結果、「実施済み」又は「達成済み」である。

○：すでに取り組んでおり、「進行中」である。

⇒：取り組みを進めているが、令和3年度末までに達成が見込めない（「準備中」含む。）。

大項目	中項目	目標	小項目	令和2年度の進捗状況
1.被災者の住まい 再建 さらに加速	1-1.災害公営住宅の早期 建設	現在、災害公営住宅の建設を重点的に進め、平成31年1月からの入居を目指しています。	1-1-1.災害公営住宅の早期建設	◎
	1-2.民間賃貸住宅の再建 支援	被災した賃貸住宅を再建する場合に、建設費の一部を補助する新たな制度を導入し、民間賃貸住宅の再建を支援します。	1-2-1.民間賃貸住宅の再建支援	◎
	1-3.住まい再建支援策の 拡充	被災者の個別の事情に寄り添い、復興基金を活用して住まい再建の支援をさらに充実させます。	1-3-1.住まい再建支援策の拡充	◎

町長マニフェスト進捗状況（令和2年度）

◎：取り組んだ結果、「実施済み」又は「達成済み」である。

○：すでに取り組んでおり、「進行中」である。

⇒：取り組みを進めているが、令和3年度末までに達成が見込めない（「準備中」含む。）。

大項目	中項目	目標	小項目	令和2年度の進捗状況
2.一刻も早い復興整備 近い将来の賑わいへ	2-1.魅力あるまちに生まれ変わる復興整備	災害はもとより、日々の暮らしを快適にするための区画整理を進めるとともに、買い物が便利になる商店街づくりを目指します。また中心部のみならず、各地域の拠点の整備も計画していきます。	2-1-1.区画整理の推進	○
			2-1-2.新住宅エリアの整備	○
			2-1-3.新たな商店街づくり	○
			2-1-4.各地域の拠点整備	○
2-2.新しいまちづくりは「道路づくり」から		県道熊本高森線の道路幅を27メートルに拡幅することで、4車線化により、安全・安心かつ、スムーズに通行できる道路にします。さらに、広い歩道により子ども達の安全な通学路を確保します。また、広い歩道を活用しオープンカフェを開催するなど、道路づくりを通したまちの賑わいや魅力づくりに取り組みます。	2-2-1.県道熊本高森線の27m拡幅及び通学路の整備	○
			2-2-2.歩道を活用した賑わいづくり	○

町長マニフェスト進捗状況（令和2年度）

◎：取り組んだ結果、「実施済み」又は「達成済み」である。

○：すでに取り組んでおり、「進行中」である。

⇒：取り組みを進めているが、令和3年度末までに達成が見込めない（「準備中」含む。）。

大項目	中項目	目標	小項目	令和2年度の進捗状況
3.震災から立ち上がる 町民主役のまちづくり	3-1.避難地の確保と自主防災組織の強化	震災時に町民の皆さまの命を守るため、避難地（公園）の整備や、他自治体・民間企業との災害時応援協定を締結。さらには自主防災組織の設立や活動を支援するなど、町の防災力を徹底的に強化していきます。	3-1-1.避難地（公園）・避難路の整備	◎
			3-1-2.災害時応援協定の締結	◎
			3-1-3.自主防災組織の設立等による町の防災力の強化	◎
	3-2.町民の意見を反映する仕組みづくり	まちづくり協議会の活動をバックアップする他、「職員地区担当制」を導入することで、町民の意見を反映させる仕組みづくりを行っています。	3-2-1.まちづくり団体の活動支援	◎
			3-2-2.「職員地区担当制」の導入	⇒
	3-3.町民が主体となる復興活動	震災遺構や震災記念公園を整備し、震災の語り部活動を支援。また、若者の復興活動「未来トーク」など、老若男女の町民が主体となって行う復興活動を後押しします。	3-3-1.震災記念公園（仮称）の整備	⇒
			3-3-2.語り部活動の支援	◎
			3-3-3.「未来トーク」等住民主体の活動の支援	◎

町長マニフェスト進捗状況（令和２年度）

◎：取り組んだ結果、「実施済み」又は「達成済み」である。

○：すでに取り組んでおり、「進行中」である。

⇒：取り組みを進めているが、令和３年度末までに達成が見込めない（「準備中」含む。）。

大項目	中項目	目標	小項目	令和２年度の進捗状況
4.地域みんなで育てる 子どもは町の宝物	4-1.子どもの元気を育てる ‘ふれあい公園’や給食センターの整備	子ども達の心身の健康を支えるため、ふれあい公園の整備を目指します。また、炊き出しなどの防災設備を完備した災害に強い給食センターを急ピッチで復旧し、子ども達の健康をしっかりと支えます。	4-1-1.「ふれあい公園」の設置	○
			4-1-2.防災設備を完備、災害に強い給食センターの整備	◎
	4-2.待機児童問題を解消	待機児童問題の解消に向け、現在、保育士確保のための施策を進行中です。“安心して子育てができる益城町”を目指しています。	4-2-1.保育士確保のための施策	◎
	4-3.益城版コミュニティ・スクールの導入	学校教育に地域の声を生かした「コミュニティ・スクール」を導入します。町の宝物である子ども達を、地域みんなで大切に見守り育てる仕組みをつくります。	4-3-1.地域の声を活かしたコミュニティ・スクールの導入	◎
			4-3-2.地域で子どもを見守り育てる仕組みづくり	◎

町長マニフェスト進捗状況（令和2年度）

◎：取り組んだ結果、「実施済み」又は「達成済み」である。

○：すでに取り組んでおり、「進行中」である。

⇒：取り組みを進めているが、令和3年度末までに達成が見込めない（「準備中」含む。）。

大項目	中項目	目標	小項目	令和2年度の進捗状況
5.農業・商工業・観光業を連携「益城ブランド」づくり	5-1.賑わいを創出する農業・商工・観光を強化	農業・商工・観光を連携させ、益城ブランドを確立します。地元の特産品をプロデュースし、国内外に町の魅力を売り込む「地元商社」や、物産館の設立を目指します。また、地域住民による古民家カフェやフットパスとも連携し、来町者を呼び込み、まちに活気を取り戻します。	5-1-1.農・商・工を連携させ、益城ブランドの確立	○
			5-1-2.地域商社、物産館の設立	○
			5-1-3.地域住民の活動と連携した地域の活気づくり	◎
	5-2.一歩先のスマート農業で生産者の負担を軽減	国・県と連携し、ICTの最新技術を農業分野にも導入し「スマート農業」で、生産の低コスト化や農業者の負担軽減を実現させます。	5-2-1.ICTを農業分野に導入、生産性向上や農業者の負担軽減	⇒

町長マニフェスト進捗状況（令和2年度）

◎：取り組んだ結果、「実施済み」又は「達成済み」である。

○：すでに取り組んでおり、「進行中」である。

⇒：取り組みを進めているが、令和3年度末までに達成が見込めない（「準備中」含む。）。

大項目	中項目	目標	小項目	令和2年度の進捗状況
6.地域の人々で 見守る 福祉が充 実したまちへ	6-1.町民の心のふれあい・ 交流を生む地域福祉	町民同士のふれあいの場や、交流の機会を充実させ、地域における支え合いや助け合いを育く み、年齢や障がいの有無に関係なく全ての町民が笑顔で暮らせる環境づくりを進めています。	6-1-1.町民同士のふれあいの場や交流機会の充実等 地域福祉の推進	◎
			6-1-2.年齢や障害の有無に関係なく、町民が笑顔で暮ら せる環境づくり	◎
6.地域の人々で 見守る 福祉が充 実したまちへ	6-2.‘あるくプロジェクト’でい きいき健康づくり	歩くことから健康をつくる“あるくプロジェクト”を立ち上げます。買い物特典などもある健康ポイント 制度を活用し、皆さまの健康づくりをサポートします。	6-2-1.歩くことからの健康づくり	◎